



株式会社HRインスティテュート

代表者●代表取締役社長 三坂健

設立●1993年

従業員数●24人

住所●東京都渋谷区神宮前 1-13-23 HRIビジョンハウス

その他拠点●福岡、神戸、ホーチミン、バンコク、上海

連絡先 TEL●03-3423-3201 E-mail●jinzai@hri-usa.com

コンサルタント数 18人

専門分野

業種	医療機器
システムインテグレータ	職種
通信	経営企画
建設	事業企画
住宅	マーケティング
電機	営業（法人）
精密機器	営業（リテール）
自動車	MR
流通	人事
通信販売	組織人事コンサルタント
化粧品	対象者
外食	経営者・役員
広告・出版	事業責任者
商業銀行	マネジャー
生命保険	中堅
損害保険	若手
リース	新卒
不動産	外国人
医薬	

編集部の評価

「課題解決」と「人材育成」を同時に実現する独自のワークアウトプログラムで豊富な実績を持つ。コンサルティングポリシーを「主体性を挽き出す」と表現するのは、コーヒー豆を挽くようにじっくりと深く受講者の能力を開花させることを目指しているため。受講者を受け身にさせず、主体的にテーマを設定して課題解決のアウトプットができる人材を育てるために、適切なフィードバックやフォローができる経験豊富なコンサルタントがそろっている。

責任者に聞く 強み 仕組み 方針

「“主体性を挽き出す”実践型プログラムで、新しい価値を創造できる組織・人材の育成を支援します」

主体性を発揮する人材が育つサポートによって、企業競争力を向上させる

当社は、個人・チーム・組織の“主体性を挽き出す”実践型のコンサルティングや研修を専門としています。企業の課題解決×育成をテーマにしたプログラムが「ワークアウト」、社員の育成をメインにしたプログラムが「ノウハウ・ドゥハウ[®]」です。

プログラムの特徴は、コンサルティングや研修を「実践型」として実施する点です。具体的には受講者自身に実践的なテーマを設定してもらい、メンバーとのディスカッションやフィールドワークなどを通して、課題解決に向けたアウトプットを求めています。当社のコンサルタントは必要な知識やノウハウを提供し、受講者のアウトプットに対して適切にフィードバックしながら、主体性を発揮する人材が育つサポートを行います。

次世代リーダー・ワークアウトプログラムで経営・事業を率いる人材を育成

引き合いの強いプログラムの一つに「次世代リーダー・ワークアウトプログラム」があります。標準期間は8カ月で、最終的なアウトプットに向けて月に数回のセッションを経て、分析、課題化、戦略立案を進めます。クライアントは大企業が中心ですが、幹部候補育成を課題とする中堅企業からの相談も増えています。

経営幹部への登竜門として活用する企業も多く、選抜された社員に受講させ、現場の仕事とは離れた形で能力や適性を審査し、経営陣やメンバーの期待に応えられる人材を見極めていきます。

受講者からは、経営に携わっていくことやリーダーシップに対する価値観がポジティブに変化したという声が多く寄せられています。実際に、あるメーカーの新規事

三坂 健

代表取締役社長



慶應義塾大学経済学部卒業。安田火災海上保険（現損害保険ジャパン日本興亜）にて法人営業等に携わる。現在は経営コンサルティングを中心に教育コンテンツの開発、人事制度設計、人材育成トレーニングを中心に活動。2020年1月より現職。

業担当者は、ワークアウトで立案した新規事業テーマを経営陣に示し、新しい組織・収益モデル構築の推進役となっています。プログラムの経験を活かして、これからの経営や事業を率いていく存在となっているのです。

テクノロジーの進化やグローバル対応の要請に応じて、プログラムを強化

近年はテクノロジーの進化をベースにした人材育成が重視されており、当社ではオンラインを活用した遠隔研修やVRを活用した体感型の研修など、DX時代に対応したプログラムを強化しています。また、グローバル対応の要請を受けて、ベトナム、タイ、中国、台湾などでのサービス拡充も予定しています。

変化の早い不透明な時代において、新しい価値創造を実現できる人材の育成に向けて、当社の役割が一層求められていると考えています。

●「実践型ワークアウト」「実践型ノウハウ・ドゥハウ」の概要と位置づけ

主体はメンバー（受講者）	高いスキル定着	ビジネス成果と直結
コンサルタントがサポートしながら、受講者自ら設定したテーマ・目標の達成に臨む。	学んだことを、机上に留めず、業務と絡めて実践することで定着が固りやすいプログラムといえる。受講者はそのまま実践者として職場での活躍が期待できる。	経営課題や現場の問題解決をテーマとして設定することで、ビジネス上の成果に寄与することを狙う。

《テーマ例》 ●部門戦略・ビジネスプラン策定 ●新規事業・新商品企画立案
●顧客開拓のためのマーケティングプラン提案

